

公共政策研究者

# 岸本 さとこ

さんを紹介します



変えよう。  
住民の声が届く杉並へ

住民思いの  
杉並区長を  
つくる会

推薦  
しています



立憲民主党  
吉田はるみ



社会民主党  
福島みずほ



日本共産党  
田村智子



れいわ新選組  
山本太郎



緑の党グリーンズジャパン  
漢人あきこ



新社会党  
岡崎ひろみ

賛同人登録、  
ボランティア、  
ご寄付など、  
あなたの応援も  
お待ちしております！



多くの政党と  
市民が応援！

中島京子  
(小説家)

永田浩三  
(武蔵大学教授)

林美樹  
(建築家)

福士敬子  
(元都議会議員・無所属)

宮子あずさ  
(看護師)

政治が機能せず、生活の場で  
苦境に立たされる人たちに、  
世界各地で出会ってきました。



私もまた、女性として、海外で暮らす移民として、  
差別や生きにくさを感じてきた一人です。

日本でも、コロナ禍で苦しむ人々の痛みから  
目をそらしてきた政治の姿があります。  
杉並では、経済効率の名のもとに  
子どもや高齢者の福祉が削減され、  
地域住民や個人商店が  
切り捨てられようとしています。

今、苦しい立場におられる方、  
それはあなたのせいではありません。  
政治の役割は、一人ひとりの声を聞き、  
社会の制度や仕組みで解決策を見つけていくこと。

誰も取り残されない、  
みんなのための杉並を、  
みんなで作っていきます。

岸本さとこ さんより



住民思いの杉並区長をつくる会

〒167-0043 東京都杉並区上荻 3-3-2  
電話：080-4426-6871  
E-mail：2022suginami@gmail.com



岸本さとこ



# みんなで作る みんなのまち



## 1. 子どもの視点で、 子どもの育ちを支えます。

- 😊 学校給食の無償化をめざす。
- 😊 義務教育にかかる費用の補助を拡充する。
- 😊 児童館の廃止、保育所の民営化、学童保育の民間委託を徹底検証する。
- 😊 子どもが安心できる居場所をつくる。

## 4. 豊かな環境と平和を守り 文化を育てます。

- 😊 自転車や徒歩で生活を楽しめるまちづくり。
- 😊 樹木を守り増やし、都市農業の発展と継続を支援する。
- 😊 「気候市民会議」をつくる。
- 😊 区立施設の利用料を下げ、コミュニティづくりや文化活動・スポーツを応援。

## 2. 誰もが暮らしやすい 地域をめざします。

- 😊 住まいの権利を重視して家賃補助制度をつくり、公営住宅を増やす。
- 😊 高齢者が一人でも生きられる地域の福祉ネットワークを拡充する。
- 😊 ゆうゆう館の廃止をストップし、高齢者の交流の場を増やす。
- 😊 福祉にたずさわる人の待遇を改善する。



## 3. 「対話」を大切に したまちづくりを。

- 😊 区立施設の統廃合や駅前再開発、大規模道路拡幅計画など、住民の合意が得られないものはいったん停止し、見直します。

## 5. 区民のいのち・ くらしを大切に。

- 😊 障がい者の自立支援と社会参加を促進する。
- 😊 保健所の充実を図り、コロナ感染症などから区民の命を守る。

公式サイト 詳しい政策はこちら  
[kishimotosatoko.net](http://kishimotosatoko.net)



## 岸本聡子 (きしもと・さとこ)さんってどんな人？

- 1974年7月15日、5人姉妹兄弟の2番目として生まれる
- 姉妹兄弟の全員が就職氷河期世代で、世代特有の痛みを共有。
- スポーツが大好きな子どもで、現在も空手とジョギングが趣味。

### 環境問題や自治への意識は高校生から

- 「大量生産・大量廃棄」に疑問を感じていた高校生の頃、地球サミットの開催で環境問題に強く関心を持つ。
- 大学時代に環境 NGO に参加。環境問題について、みんなで学び議論しながら課題に取り組む楽しさに魅せられ、有給スタッフに。

### オランダの地で母になる

- 2001年、オランダ・アムステルダムに移住。言葉や文化の壁を感じながら、2人の息子の子育てを経験。多様性を認め合える社会の重要性は、移民として生きてきた経験からも強く認識している。

## 公共政策の スペシャリスト として活躍

- 2003年から国際政策シンクタンク NGO 「トランスナショナル研究所 (TNI)」で働く。欧州や南米など世界各地の自治体、教育機関、市民団体とともに活動。公共サービスの民営化によって各地で起きた問題に対し、住民の手に「公共」を取り戻そうとする運動にかかわり、提案・支援を行ってきた。

### 現在は、西荻窪在住

- 日本でも各地でシンポジウムなどに招かれて積極的に発信を行っている。

主な著作：『水道、再び公営化！ 欧州・水の闘いから日本が学ぶこと』  
集英社新書 (2020)

